

大いちょう

令和6年7月1日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

年中児のイメージを表現する遊び



年中児の遊びの様子がとても面白かったので紹介します。

「お化け屋敷をつくりたい!」という思いにこたえようと、担任が、保育室に段ボールを持ち込んできました。それが、家電などの大きな段ボールだったため、子どもたちは、その中に入りたと思うようになったのです。しかも、縦向きにして…

2人もしくは、3人で大きな段ボール箱をぎこちなく扱っていました。それでも段々、年中児なりに工夫して2人が先の中に入り、1人が上から段ボール箱を斜めにしてかぶせようとし

ます。中の2人が段ボールを支えて残り僅かな隙間を残し、「Aちゃん、早く入って!」と中から呼びかけます。そこで、Aちゃんが素早く入り、見事3人も段ボールの中に入れたというわけです。中に入ると、真っ暗な中にほんのり隙間からの光が差し、それが、とても愉快的ようで、中から楽しそうな声が「キャッキヤ」と聞こえてきます。しばらくすると、出てきてはまた入るを繰り返していました。そのうちに、3人も中に入って、段ボールを斜めにそっとかぶるといふ方法をマスターしました。上から少しずつ段ボールを斜めにして引っ張り、次に段ボールの下を3人で支えて、そっとかぶるといふことを自然に3人で協力しながらやっていたのです。『お～、うちの園児たちは本当によく考え、工夫する力があるなあ…』と微笑ましく見守りました。

しばらくすると、縦向き段ボールに入ることに飽きてきて、次は横向きにしてB児が、「今日は、せっかくだからキャンプしよう!」と提案し、特に合意もないまま『お家ごっこ』のような遊びが始まりました。この「せっかくだから…」の言葉に感動する(可愛くて笑ってしまいました)とともに、年中児の場合、必ずしも合意がなくても、場や物の共有は成立するんだなと思いました。そんな中、B児は、中にいるC児や忙しそうにウレタン積み木を運ぶA児に、「はい!(ごはん)持ってきた～。お腹すいた?」とお盆に茶碗とコップなどをのせたセットを持ってきました。すかさずA児が、「何にも入ってないやん。」と突っ込みます。すると、B児は「あるよ。透明の水」と答えます。このやり取りも、とても興味深く、それぞれが異なるイメージで遊びながらも、点でつながった場面です。何にも入ってないことのリアルを追求するA児と、入ってなくても見立てて



つじつまを合わせるB児の対峙です。



こんな子どもの姿から私たち教師は、子どもがイメージを豊かにするための素材（ひもやボタン、木の実、ストローを切ったものなど）を準備しておく必要があるんだなということ学びました。

それでも、B児に、「どこに置いておく？」と聞かれたA児が、「ここに置いておいて。」と段ボール箱の入り口に、ウレタン積み木を置いた玄関？の敷居の上をテーブルに見立てて言いました。B児はそれを受け容れ、敷居の上にお盆のご飯セットを置きます。そのとき、段ボールの中に入っていたC

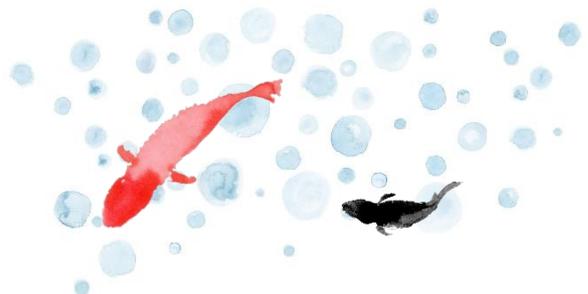
児が外に出ようとして、敷居のテーブルにのせたご飯セットを見つけて、「なんで、そこなんだよ。」と突っ込みました。すると、B児が笑い転げて、「なんで、テーブルに乗らなきゃいけないの？」と、テーブル兼敷居という状況がツポにはまったようで、よだれを垂らすほど笑いが止まりません。A児は、「だって、奥は狭いんだから…」と伝えます。B児が笑いながら、「もう、笑わせないでよ。」「私のお家は、めちゃくちゃ狭いんだから…」と言ったのを受けて、C児が中にあったウレタン積み木を出しながら、「もう、狭いんだから、これも出してよ。」と、どんどん中に入れたウレタン積み木を出していきました。すると、B児は、「なんで、こんなぐちゃぐちゃになるみたいなの…（ここは）バーベキューするところになってんだけど…」と、ずっと笑っていました。

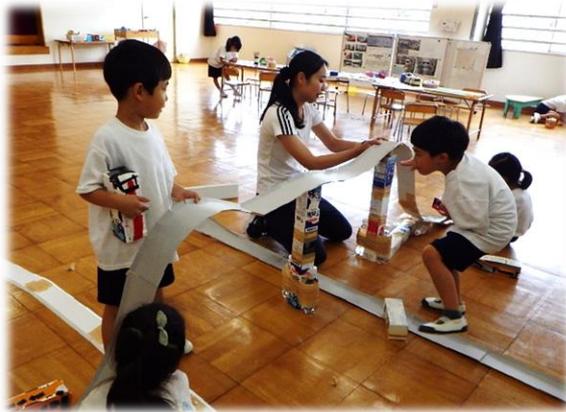


要約すると、こんな感じです。どうやらA児は、ウレタンブロックを運びながら段ボールの奥の方までテーブルなど設置しようと考えていたようです。とりあえず、B児のご飯セットを玄関先に置いておいてほしいことを伝えました。そうするうちに、C児が中から出てきて敷居にあるごはんセットに対して、「なんで？」と思ったのではないかとされます。B児は、敷居をテーブル代わりにしている様子が変わって、「狭い」という言葉を受けて、C児が中からウレタン積み木を次々出してきて、そのカオスな状況に笑いが止まらなかったのではないかと読み取れます。

場や物を共有しながらも、場面によりイメージの一致があるものの結局はそれぞれがそれぞれの思い

で遊んでいるので、ちぐはぐしたことが起こるわけです。それが、絡み合ったときにとっても面白く感じたのでしょう。子どもの遊びってこんなものなのかな…と思います。ちぐはぐ…とわかって、これだけ笑い合える関係性が素敵だなあと思いました。





《7月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒に思いきり水の感触を楽しむ。
- 先生や友達に自分なりの表現で思いを伝えようとする。

【4歳児】

- 友達に自分の思いを言葉や身振りで伝えて遊ぶ。
- 友達や先生と一緒に水の感触を体全体で楽しむ。

【5歳児】

- 自分の思いや考えを伝えながら、友達の思いも知ろうとする。
- 自分なりの目標をもち、工夫したり、試したりして遊びを進めることを楽しむ。



お知らせ・お願い

毎週、通信を配信しております。お知らせやお願いなどがたくさんありますので、スマート連絡帳やホームページ等で確認していただきますようお願いいたします。

☆保育参加やプール見守りボランティアなど、快くご参加・ご協力くださいましてありがとうございます。これから保育参加をされる保護者の方、どうぞよろしくお願いいたします。

☆教育委員会教育施設課に切なるお願いをしまして、この度、ようやくサーキット内の駐車場にラインを引いていただくことができました。保護者の方にはこれまでご不便をおかけしましたが、少しは使いやすくなっていると嬉しいなと思います。

☆教育委員会教育政策課にお願いをして、ちゅうりっぷ組の保育室及び、ホールのカーテンをつけていただくことになりました。まずは、先にホールの分のみ取り付けが終了しております。これで、たんぽぽ組やいちょう組、さくら組の子どもたちが周りの目を気にせず安心して着替えができるようになりました。ちゅうりっぷ組も後日つけてくださいますので、ご安心ください。

☆7月5日（金）に、2歳児限定『体験入園会（なつまつり）』を開催いたします。チラシを配布させていただきましたので、近隣の2歳児（令和7年度年少児）の方にお渡し下さると幸いです。また、在園児の弟妹で対象のお子さんは、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。